

保護者様

深谷市立大寄小学校
校長 鳥羽 正 人

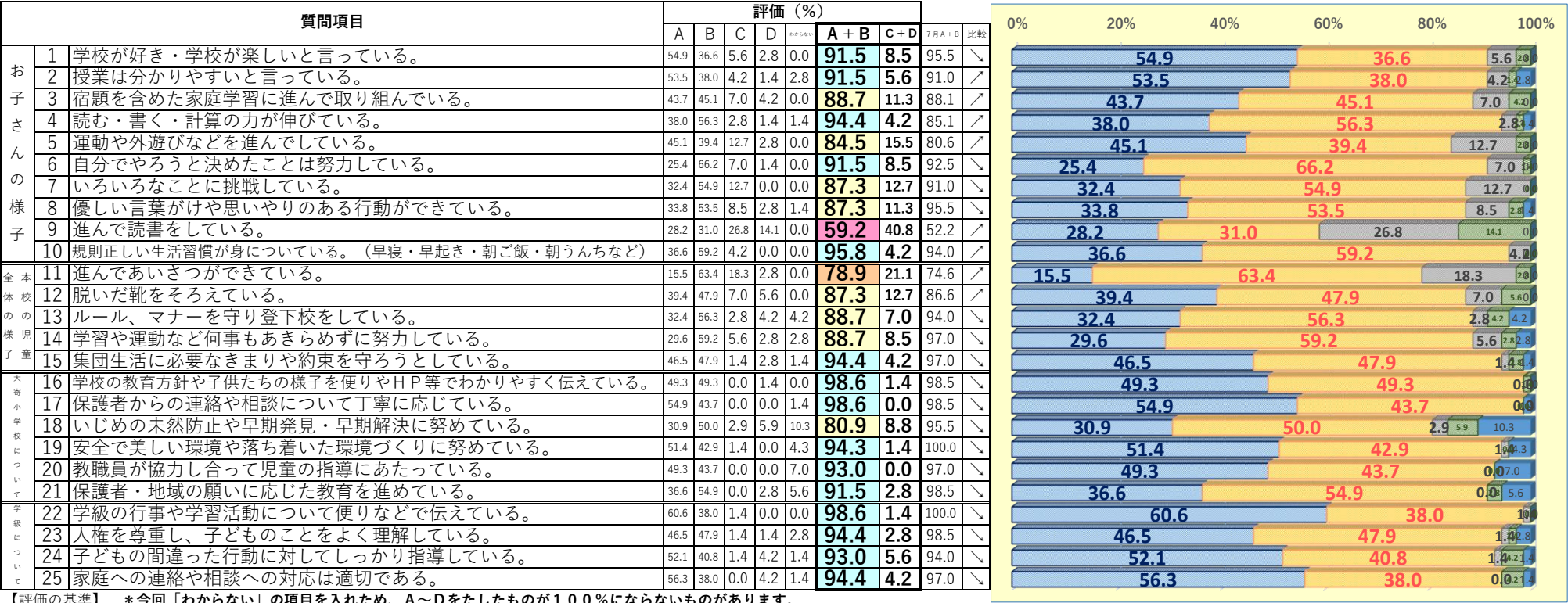
令和6年度 本校の教育活動についての保護者評価集計結果（12月実施）

余寒の候、保護者の皆様におかれましてはご清祥のことと拝察いたします。また、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、感謝申し上げます。

さて、標記の件につきまして皆様にオンラインでご協力いただき、71件（66.4％）の回答をいただきました。遅くなってしまい恐縮ではありますが、下記のように集計しましたので、お知らせいたします。

来年度は質問項目の精選・検討を行い、改善を加えて実施していきたいと考えています。ご協力をよろしくお願いいたします。

記



【評価の基準】 *今回「わからない」の項目を入れたため、A～Dをたしたものが100％にならないものがあります。

A（4） よくあてはまる（9割以上の達成状況）+B（3） ややあてはまる（6割以上9割未満の達成状況）→肯定的評価 C（2） あまりあてはまらない（3割以上6割未満の達成状況）+D（1） あてはまらない（3割未満の達成状況）→否定的評価

【評価項目から】 【記述のご意見から】

今回、回答項目に「わからない」を入れたため、肯定的評価の数値は前回よりも全体的に下がりましたが、15の質問項目で90％以上の評価をいただきました。特に、前回同様教育活動の周知や連絡や相談への丁寧な対応などで高い評価をいただいています。一方で、多くの項目で“そうではない”と考えている方もいます。特に、「9 進んで読書」「11 進んであいさつ」をはじめ、主体性の面は変わらず本校の課題です。また、前回と比較して数値が大きく下がったのが「14 何事もあきらめず努力している」「18 いじめ防止」の点では、学校の対応が充分ではない面、または不透明さ（わからない）といった面が大きな要因であると考えています。いただいた意見をもとに、今後も継続した教育活動と広く周知していくこと、課題に真摯に向き合い、解決に向けて丁寧な対応と説明を心がけてまいります。	「いつも丁寧に見ていただき感謝しています。」「楽しく安全に通えています。」など、励みになるご意見をいただきました。一方、「進んであいさつする子が少ない。」「家で言っても靴そろえをしない」「進んで読書をしてもらいたい」など、課題もあげていただきました。また、10月から導入した“まなびポケット”での連絡等への理解及び教職員の負担軽減についてのご意見、学校内外での児童間トラブルなどへの学校の対応についてのご意見もありました。すべての課題を早急に解決することは難しく、時間を要する面があるとは思いますが、いただいたご意見を教職員で共有し、めざす学校像『子どもに「自信」・保護者に「安心」・地域に「信頼」大寄小学校』へ向けて職員一丸となって鋭意努力してまいります。
---	---